

姫路あけぼの教会礼拝 説教要旨 「神様の選びと導き」(2)

日本基督教団 姫路あけぼの教会牧師 廣田守男

〔本庄ハイツチャペル〕数年間、日本基督教団の無任所教師のまま、呉アライアンス教会のファミリーの一つ、本庄ハイツチャペルの協力牧師として奉仕させて頂きました。その間に風邪を引き、慢性腎炎が悪化し、慢性腎不全と診断を受け、1年半食事療法をしましたが、1985年10月に人工透析治療を余儀無くされました。その結果、十分な奉仕ができないことを覚えて1年後に同教会を辞任させていただいた次第です。（この間に藤井圭子氏との出会いが与えられ、心から感謝しております。）

〔開拓伝道〕「出て行き… 福音を宣べ伝えなさい」（マルコ 16 章 15 節、新改訳）との御言葉に押し出されて開拓伝道に召され、1986年11月に姫路市南部に位置する現在地（飾磨区、義兄の空き家）に家族5人（妻と子供3人、2男1女）一緒に遣わされてきたのです。神様の憐れみにより洗礼を受ける方が起こされ、1987(昭和 62)年に伝道所を開設し、土地建物を購入し、更に増改築工事も行わせて頂きました。またその後も親族をはじめ洗礼を受ける方々、転入会される方々も起こされ、1997(平成 9)年に第二種教会を設立するに至り、2千年に宗教法人の設立も認可され、神様の恵みにより、多くの方々の執り成しにより今日に至り感謝しております。

その間に私は過労と合併症も重なり3度入院生活を余儀なくされました。1回目は心臓肥大のため、2回目は副甲状腺の摘出と移植手術を受けた時、3回目は手根管症候群による右手首の開放手術を受けた事です。特に2千年頃には百歩も歩けずタクシーに乗らなければならない状況もありました。その中で「今日まで守られ」（新聖歌 171 番）導かれていることを感謝しております。「私たちが滅びうせなかったのは、主の恵みによる。主のあわれみは尽きないからだ」（哀歌 3 章 22 節）。今日まで守られ導かれたのは神様の憐れみと導きにより、多くの方々のお祈りに支えられている事を覚え感謝する次第です。

〔姫路朝祷会(超教派)〕1976年5月1日(日)にラジオ牧師・羽鳥明先生を講師にお招きし、超教派の教会で姫路クリスチャン修養会を開きました。その翌日、2日(月)に羽鳥先生を囲んで朝食懇談会（教職・信徒と一緒に）を行いました。そのことを契機として姫路での朝祷会の設立を願っていた中谷繁雄兄(日基教団姫路教会員)を中心として、永年の祈りの内に姫路朝祷会が1976(昭和 51)年5月11日(水)に大阪朝祷会の祷友達の応援を得て全国で101番目に発足した次第です(世話人・中谷繁雄兄)。それと相前後して姫路に超教派の働きとして「キリスト教宣教協力会」と「カルバリー聖歌隊」が発足しました。その働きの発端に関わらせて頂き幸いに思ってい

ます。

姫路朝祷会(世話人・今城輝雄兄)の現状は毎月第二、第四水曜日午前七時より姫路福音教会で、信徒が司会をし、姫路市内及び近郊の教会の牧師・神父からメッセージを聴いた後、祈りを共にし、朝食後散会し、各々生活の場に遣わされて行きます。また朝祷会全国連合全国大会・年頭集会・近畿ブロック集会等を姫路朝祷会が担当して度々開催することもでき、恵みに与り感謝しております。

〔2015年〕は、私にとって後期高齢者の仲間入りをする年齢であり、透析治療を受けて満30年を経過する節目の年になることに心を寄せ祈っておりました。日本基督教団播州地区の同年輩の牧師が隠退され、私が最高齢者になり、また私の恩師末永弘海牧師が召天されたのも、私の父が召天したのも75歳であった事を思い出し少し寂しくなりました。しかしアブラハムがハランを出発したのが75歳であり、モーセがホレブの山で召しを受けたのが80歳であることを示され、勇気を与えられました。キリスト伝道会「活水の群」(理事長 渋谷教会・藤村和義師)の先輩の先生方がご活躍しておられる姿にも励まされた次第です。

元日の朝、「あなたは年を重ね、老人になったが、まだ占領すべき地がたくさん残っている」(ヨシュア13章1節)とのお言葉を与えられました。「占領すべき地」とは何か？ まだ救われていない人たちへの救霊の働きであることは確かで、目覚めさせられ、伝道に邁進しなければならないと肝に銘じました。しかし一方、姫路あけぼの教会にとって駐車場の問題が永年の課題となっておりました。教会の南側には数年前より空き家になった大邸宅がありましたが、到底考えも及ばない事と思っておりました。所が2月になって突然邸宅が撤去されて更地となり、4月に入って、地主の方から建築屋を通して「土地の一部(約77坪)を教会で購入して欲しい」との申し出がありました。思いがけないことでしたが、祈りの内に5月の役員会に図り、聖霊降臨祭の礼拝後、教会臨時総会を開いて検討した結果、「このような申し出は人間の考えではなく、神様のお取り計らいに違いない」と示され、会員も少人数で、手元の資金は少額ですが、将来の新会堂建築を夢見て思い切って購入を決断した次第です。6月24日に地主さんと売買契約を結び、9月24日に全額約1,900万円(諸経費含、地主・建築屋・不動産屋・司法書士)支払いを済ませ、27日には藤井圭子氏(日本キリスト伝道会エバンジェリスト)を招いて教会創立記念特別伝道礼拝を守り、続いて駐車場奉献式を行うことができ感謝でした。そのような状況下で、お二人のご高齢のご婦人が洗礼の恵みに導かれたのです。背後にある神様の真実なお働きを身に覚え、感謝した次第です。まだ400万円程の借入金があります。必要が満たされて完済できるようにと願っております。

〔2016年〕は開拓伝道を初めて丸30年になりますので9月、10月に創立記念感謝礼拝と記念式典及び伝道集会を行います。私たちが伝道を開始した時、教会の周辺に

は住宅がありましたが、田畑が多く、道路も不整備で分かり難く不便でした。しかしここ数年で区画整理事業が完了し、道路も整備され、住宅街に変わってきました。私たちに対して宣教の重荷を神様から託せられている事を覚えさせられております。

「恐れなくて、語り続けなさい。黙ってはいけない。わたしがあなたとともにいるのだ。…この町には、わたしの民がたくさんいるから」(使徒 18 章 9, 10 節)。

私自身も弱さを持つ身でありながら、神様の憐みと皆さんのお祈りに支えられて今日まで守られている事を覚えて感謝しております。続いてお祈り頂ければ幸いに思います。